DBSWIN取扱説明書からの抜粋

2. インストール

2.1 はじめに

■インストールされているDBSWIN旧バージョンをアップデートする場合は**「アップデート作業の順序」**をご覧ください。

■DBSWINをインストールするためにアドミニストレーターの権利が必要です。

○開いている他の全プログラムを閉じてください。

○DBSWINのDVD-ROMをDVDドライブに挿入すると左のメニュー画面が自動的表示されます。表示されない場合DVDドライブを選択して、Start.exeを起動してください。

○「DBSWINのインストール」をクリックしてください。

○「DBSWINをインストールしますか？」のダイアログで「OK」をクリックしてください。

ネットワークインストールなどについて、インストールの詳細はDBSWINの取扱説明書をご覧ください。

○指示に従ってください。

○「次へ」をクリックしてください。

■エンドユーザー使用許諾契約書（EULA）

○エンドユーザー使用許諾契約書（EULA）を読んでください。

○「使用許諾契約の条項に同意します」のボックスにチェックを入れます。

○「次へ」をクリックしてください。

2.2 単一のパソコンにインストール

ここでは、パソコン一台だけにインストールし、使用する場合の説明をします。DBSWINをネットワークの複数のパソコンで使用、又は将来的にネットワークの構築をお考えの方は「**2.3 ネットワークインストール**」をご覧ください。

■インストール項目の選択

○リストから「インストール：アプリケーション＆データベース」を選んでください。

DBSWIN、SQLデータベースとサーバーのサービスをインストールします。その場合、パソコンはサーバーであると同時にクライアントとなります。

○「インストール方法」で「単一のパソコン」を選んでください。

○「データベースのローカルパス」の欄でデータの保存先を入力します。表示の推奨パスを採用するか、又はご希望のパスを入力してください。

パソコン内のディスクかパーティションのみご使用になれます。仮想ドライブ又はLANディスクは使用できません。

○「次へ」をクリックしてください。

■データベース名／医院名の入力

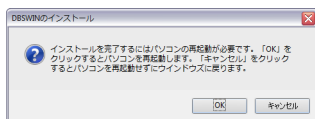
○データベース名又は医院名の入力してください。

○「次へ」をクリックしてください。

■インストール準備完了

○インストール内容の設定を確認してください。設定はリストの右欄側をクリックすると編集することができます。

DBSWINのモジュール（口腔カメラ撮影など）は、全てがインストールされます。ここで、各モジュールを有効／無効にできます。モジュールの設定は、いつでもDBSWINの設定で変更できます。

○「インストール実行」をクリックすると、アプリケーション、サーバー、ドライバなどの様々なコンポーネントがインストールされます。

インストール終了後に上記のメッセージが表示されたら、パソコンを再起動してください。

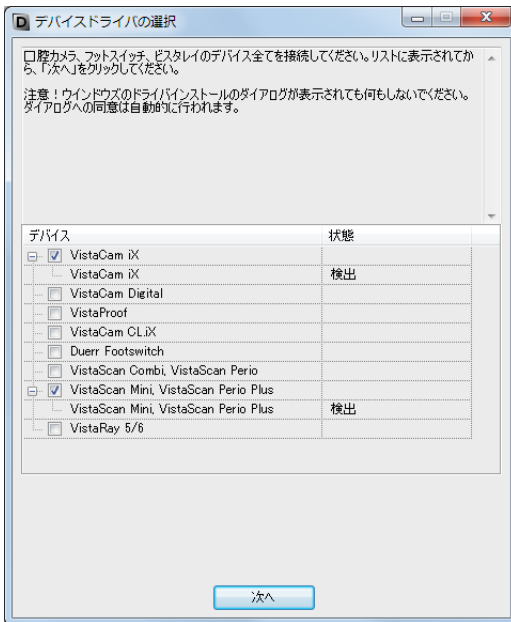
インストール

VistaEasy取扱説明書からの抜粋
DBSWINインストールの際にドライバーを一緒にインストールしなかった場合以下のようにドライバをインストールしてください。

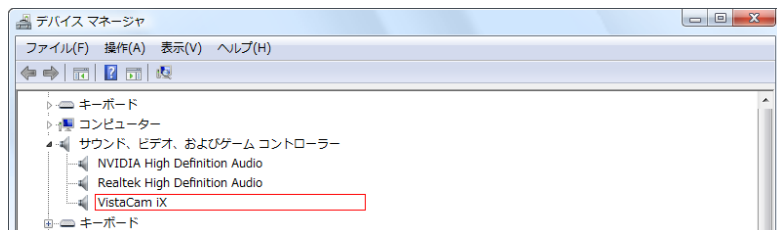
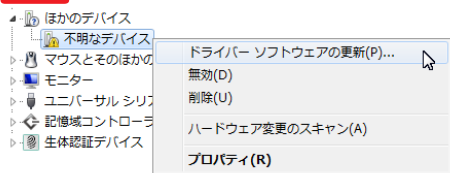
1. ソフトウェアのインストール

インストールのディスクをドライブに入れ、Start.exe を起動してください。スタートメニューで「ドライバ＆プラグイン」のタブをクリックします。次に「ビスタイージーのインストール」をクリックすると、インストールを開始します。インストール画面の指示に従って行ってください。

2. USBドライバのインストール

インストールのディスクのスタートメニューで「ドライバ＆プラグイン」のタブをクリックします。次に「デュールデンタル ドライバセットアップ」をクリックすると、インストールを開始します。インストール画面の指示に従って行ってください。
「デバイスドライバの選択」のダイアログが表示されたら、ご使用の画像情報デバイスをパソコンのUSBポートに接続してください。ドライバのインストール画面に従ってドライバをインストールしてください。

2.1 デバイスマネージャでの確認

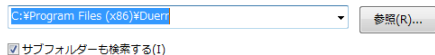
USBケーブルで接続されたビスタスキャンのデバイスが正しくインストールされると、Windowsのデバイスマネージャに表示されます。

VistaCam iX:

Windowsがドライバを正しくインストールできなかった場合、デバイスマネージャで「ほかのデバイス」で「不明なデバイス」の項目が表示されます。

「不明なデバイス」の項目上を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新」を選んでください。以下の場所からドライバを更新してください。

コンピューター上のドライバー ソフトウェアを参照します。

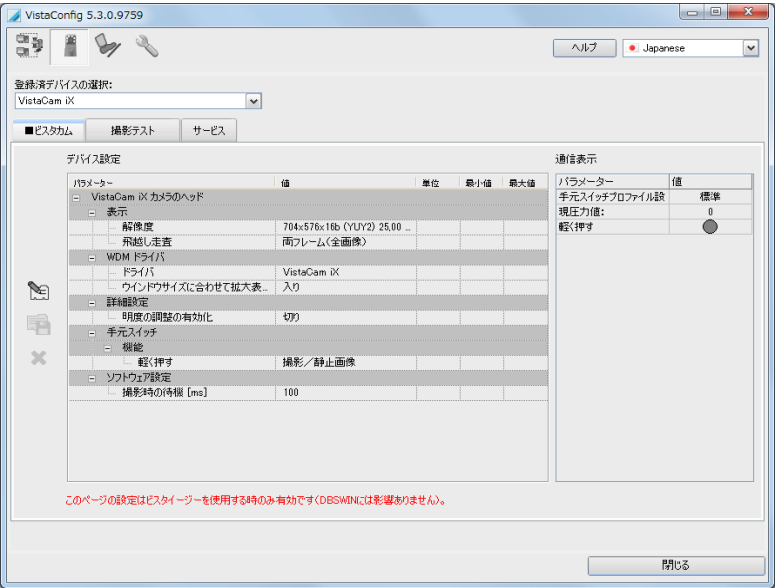
次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:

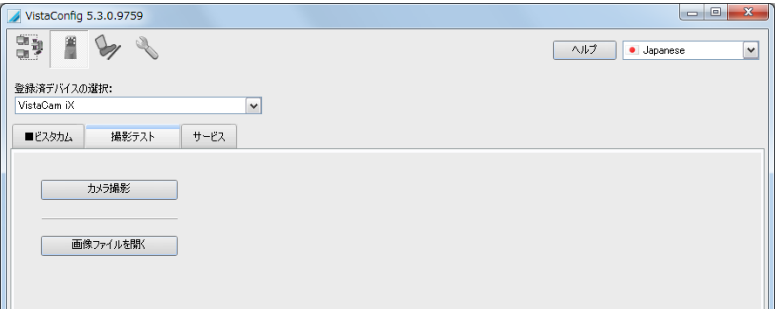
C:¥Program Files (x86)¥Duerr　参照(R)...

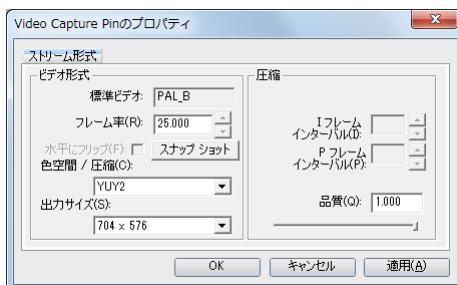
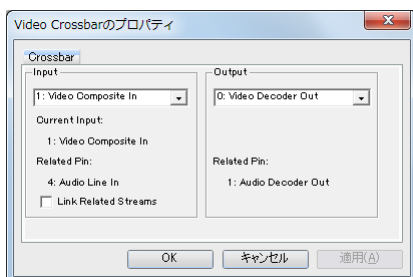
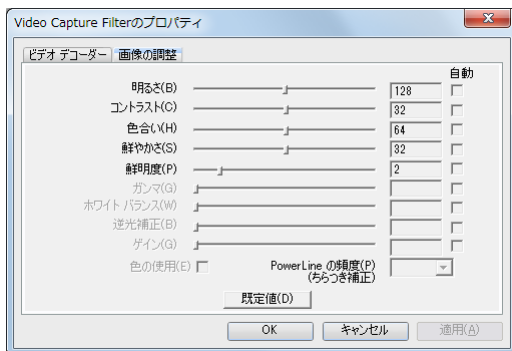
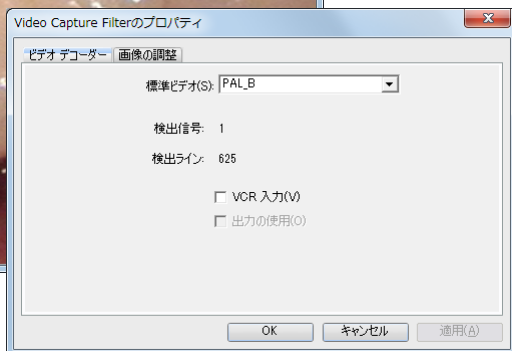
☑ サブフォルダーも検索する(I)

ビスタスカムの設定

ビスタスカムの設定は、VistaConfig（ビスタコンフィグ）のソフトウェアで行います。

4. デバイス設定

ドロップダウンリストから登録済みのカメラを選択してください。デバイス設定のパラメータが表示されます。必要であればパラメータ設定を変更することができます。

「ウインドウズサイズに合わせて拡大表示」が「入り」になっていると、お使いのパソコン及び内蔵グラフィックボードの種類によっては、静止画像や保存画像が正しく表示されない場合があります。その場合は、設定を「切り」にしてください。

撮影のテストをするには、「撮影テスト」のタブを選び、「カメラ撮影」のボタンをクリックします。

VistaCam

カメラ撮影のダイアログの「設定」ボタンで表示されるメニューから、それぞれのカメラ設定ダイアログを開くことができます。
必要であれば、設定を変更することができます。

フットスイッチの設定

デュールデンタルのフットスイッチを使うと、口腔内カメラの撮影を簡単に行うことができます。

5. デバイス設定

VistaConfig（ビスタコンフィグ）のソフトウェアでフットスイッチの設定を行います。

〇3つのパネルにそれぞれ機能を与えます。

〇撮影時に、お知らせ音を鳴らすかどうかを設定できます。

〇それぞれのパネルの機能をテストすることができます。

VistaConfig 5.3.0.9759

ヘルプ　Japanese

登録済デバイスの選択:

Duerr Footswitch USB (COM3)

■フットスイッチ　設定

デバイス設定

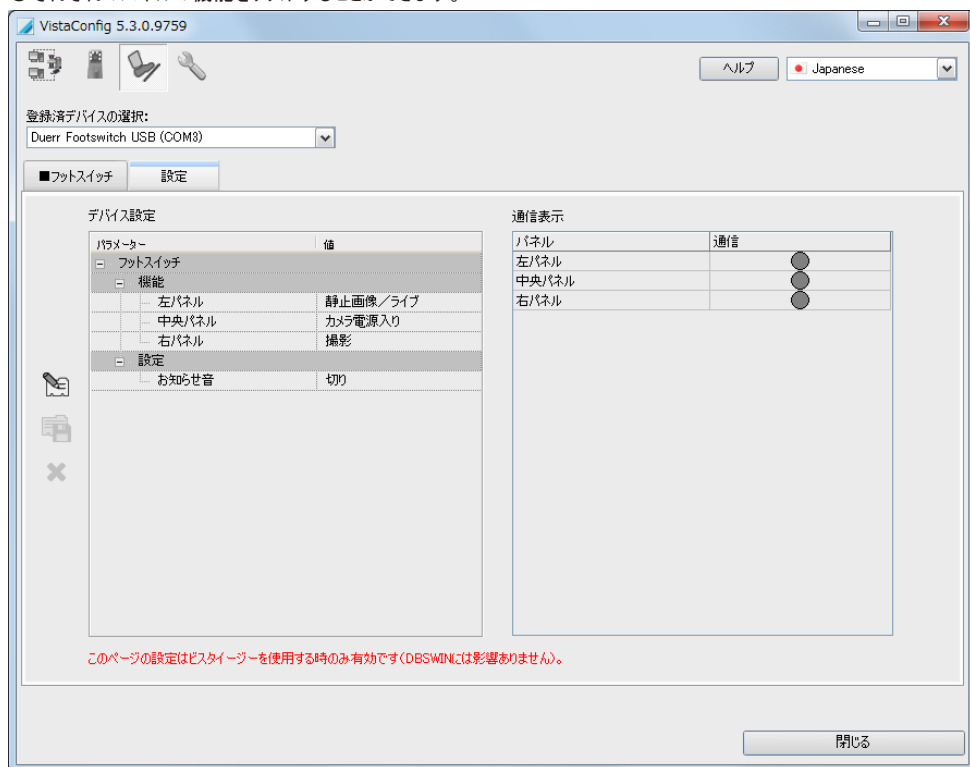
パラメーター	値
フットスイッチ	
機能	
左パネル	静止画像／ライブ
中央パネル	カメラ電源入り
右パネル	撮影
設定	
お知らせ音	切り

通信表示

パネル	通信
左パネル	●
中央パネル	●
右パネル	●

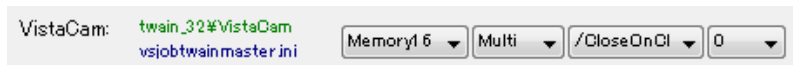
このページの設定はビスタイージーを使用する時のみ有効です（DBSWINには影響ありません）。

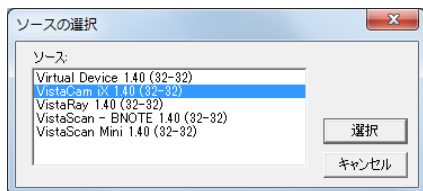
閉じる

ビスタスカム＆他社製ソフトウエア

7. 他社製ソフトウエアを使用して撮影

ビスタカムのデバイスでは、他社製ソフトウェアを使って画像挿入を行うこともできます。

7.1 TWAINインターフェイス使用

TWAINインターフェイスで画像挿入が機能するためにTWAINを正しく設定し、他社製ソフトウェアに合わせることが重要です。「6.6 TWAIN設定」をお読みになり、設定を行ってください。

7.1.1 TWAINソースの選択

他社製ソフトウエアのメニューでTWAINソースを選択する項目を選ぶと、ソースの選択ダイアログが表示されます。該当する機器を選ぶと画像挿入ができるようになります。

ビスタカム iX ⇒ VistaCam iX

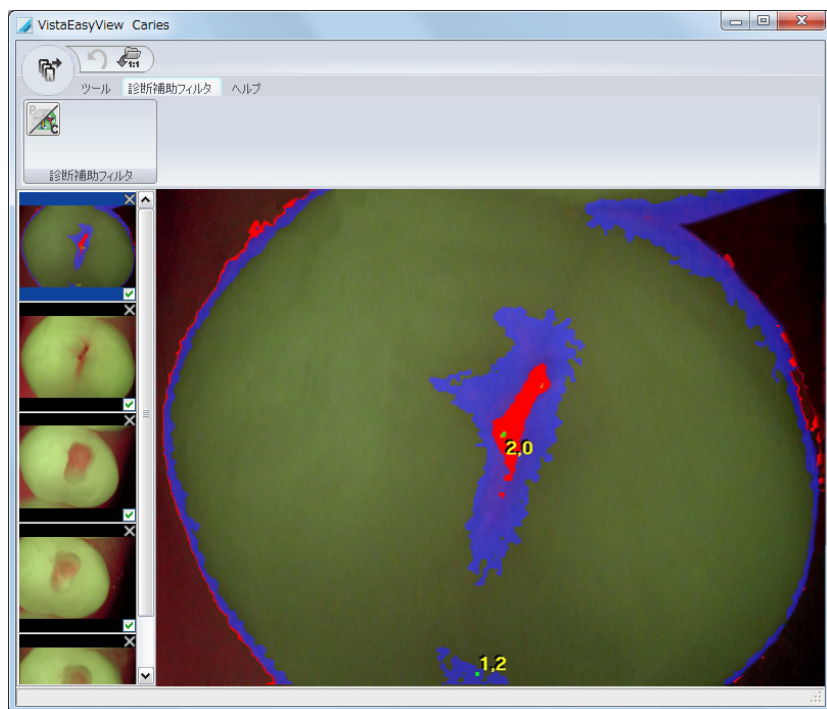
7.1.2 TWAINで画像挿入

他社製ソフトウエアのメニューの中からTWAINで画像挿入を行う項目を選ぶと、カメラ撮影の画面が表示されます。

〇カメラで撮影を行うには、カメラハンドセットの手元スイッチを押す、フットスイッチのパネルを踏む、又はマウスで撮影のボタンをクリックします。

〇カメラの撮影を終了するには、カメラ撮影ダイアログを閉じてください。

〇ビスタイージービューをご使用になっている場合は、他社製のソフトウェアに送信する前にビスタイージービューで画像の確認と画像処理ができます。最後に左上のボタンを押して画像を送信し、ビスタイージービューを閉じます。詳細は「6.7 ビスタイージービュー」をご覧ください。

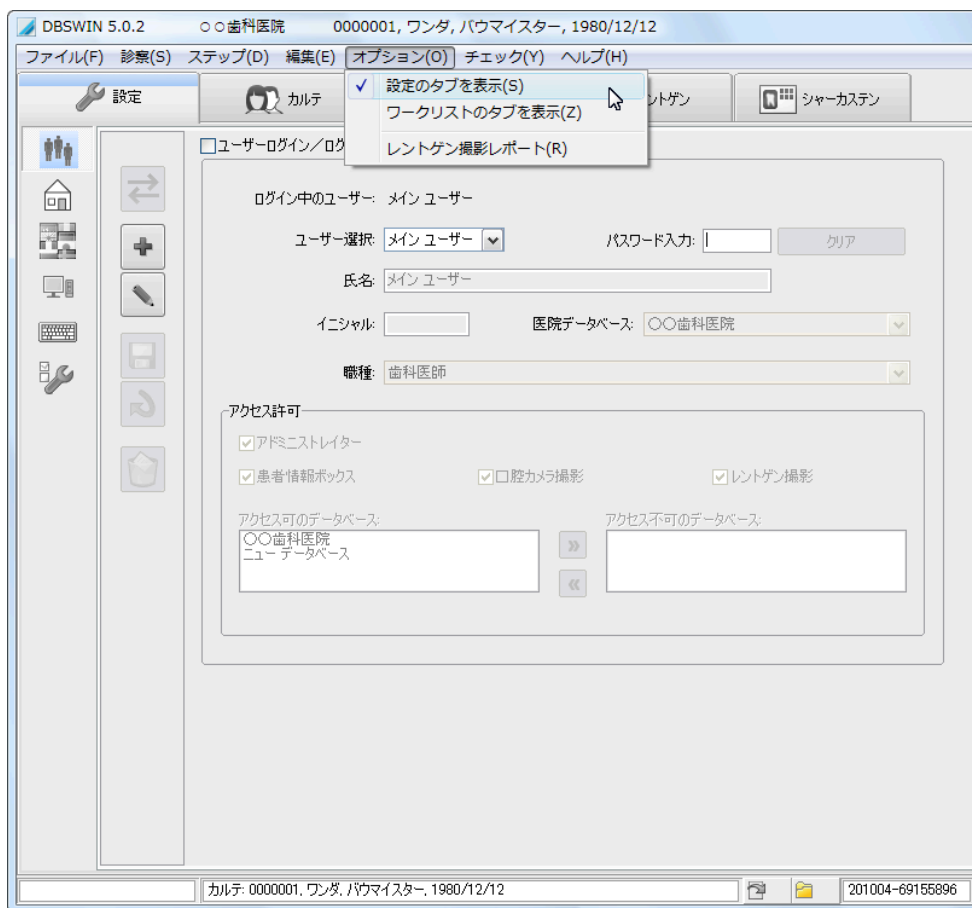
〇ビスタイージービューを使用していない場合は、撮影時に画像が直接他社製ソフトウェアに送信されます。

ビスタカムのドライバソフトウェアが、撮影時自動的に画像のバックアップを取ります。他社製ソフトウェアを使用して問題が起きた場合、画像修復機能で画像ファイルをバックアップのフォルダから開き、他社製ソフトウェアに再転送することができます。

画像挿入を他社製ソフトウェアで行う際、カメラ撮影画面で、「画像修復」のボタンをクリックします。表示された「画像修復」のダイアログに従って以前撮影した画像を再度他社製ソフトウェアに転送することができます。

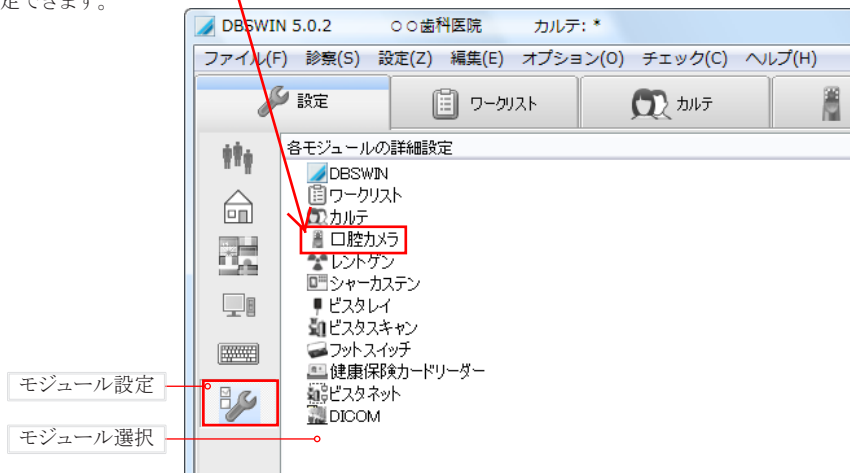
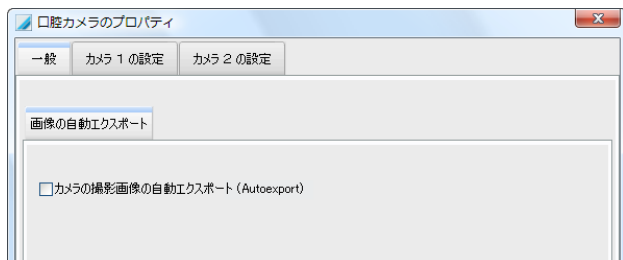
DBSWIN取扱説明書からの抜粋
カメラの設定

10. 設定

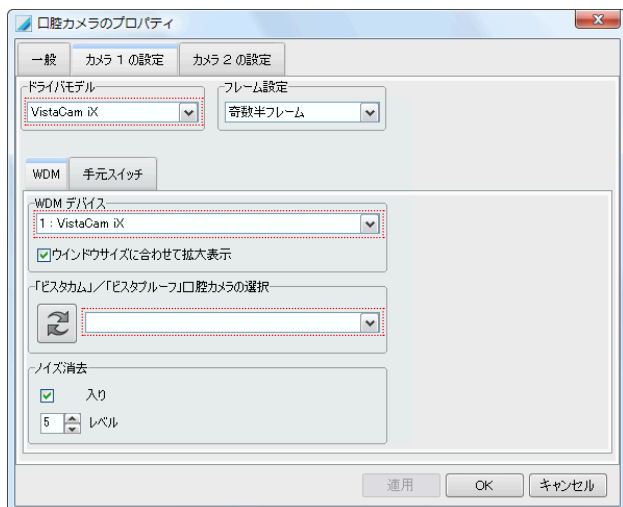
設定タブを表示するには「メニュー」の「オプション」で「設定タブを表示」を選びます。

注意：設定が行えるのは、ユーザーログインに関してアドミニストレイターの権利がある場合のみです。

カメラの設定
「口腔カメラ」を
ダブルクリックで
開きます…

10.6 モジュール設定

DBSWINには様々なプログラムモジュールが入っており、各アイコン上をダブルクリックするとモジュールのプロパティが設定できます。

10.9 口腔カメラのプロパティ

【一般】

「口腔カメラの撮影画像の自動エクスポート」にチェックを入れると、口腔カメラの撮影をするときには常に画像をエクスポートします。注意！画像形式と保存先の設定は「Autoexport」のプリセットで行います。詳細は**「10.11 シャーカステンのプロパティ」**をご参照ください。

注意：VistaCam iXの場合、上記の赤枠部分の設定を確認してください。

【カメラ1、2の設定】

口腔カメラ等をお使いになる前に、カメラの設定が必要です。

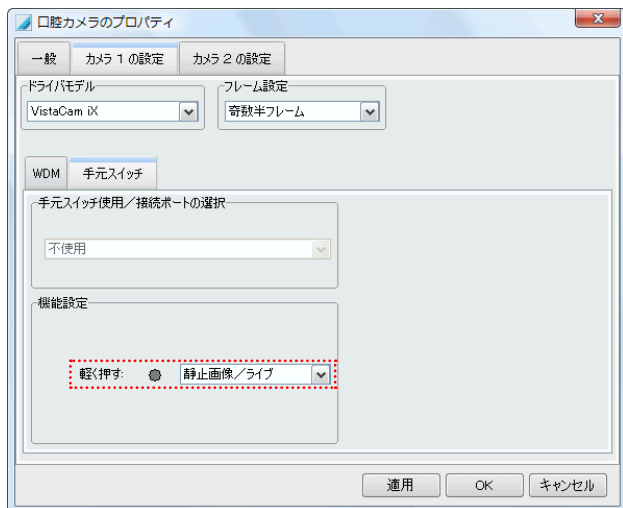
「ドライバモデル」でカメラのドライバを選択してください。左図のようにVistaCam iX、VistaCam DigitalとVistaProofに必要な設定を行ってください。

「WDMデバイス」でインストール済みのカメラのみが表示されます。その中からVistaCamのモデル（又は他のカメラ）を選択してください。

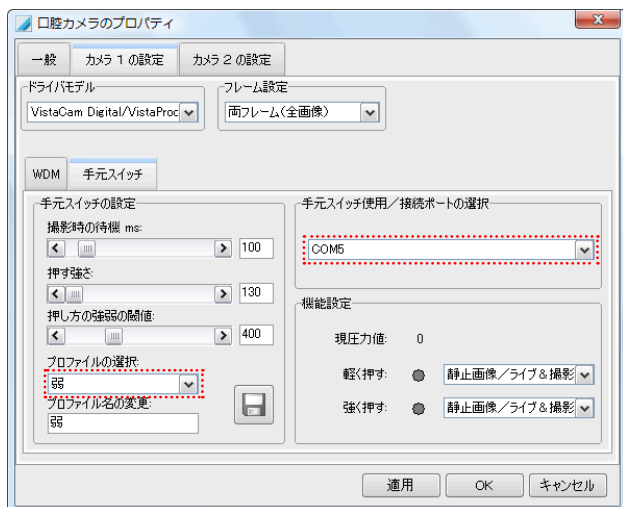
カメラがWDMデバイスのリストに表示されていない場合は、カメラのドライバが正しくインストールされていないか、カメラが接続されていないか、又は前回使用したのと違うUSBに接続されている可能性があります。ドライバをインストールするか、カメラを別のUSBに接続してみてください。

「ビスタカム／ビスタプルーフ口腔カメラの選択」

VistaCam DigitalとVistaProofの場合、ここで種類を選択してください。接続したビスタカムがリスト内に表示されていない場合は、左側の矢印のボタン「ビスタカム再検索」をクリックしてください。

注意：VistaCam Digital又はVistaProofの場合、上記の赤枠部分の設定を確認してください。

【手元スイッチ】

VistaCam iXの設定

「軽く押す」→ 手元スイッチを押した時の機能をここで選択します。標準設定は「静止画像／ライブ」になっています。スイッチを押すと画像を撮影し、もう一度押すとライブ画面に戻ります。画像撮影後、自動的にライブ画面に戻るようにするには、「撮影」を選んでください。

【手元スイッチ】

VistaCamとVistaProofの設定

ダイアログの右半分:

「手元スイッチ使用／接続ポートの選択」→ コンボボックスから手元スイッチの正しいコンポートを選択してください。手元スイッチは、使用しない場合「不要」を選択します。

「機能設定」→ 手元スイッチの握り方に関して、二つの機能がここで設定できます。手元スイッチを握ると、その数値が「現圧力値」として表示されます。ページ左側の「押し方の強弱の閾値」で設定された値より低いと「軽く押す」とみなされ、強いと「強く押す」とみなします。

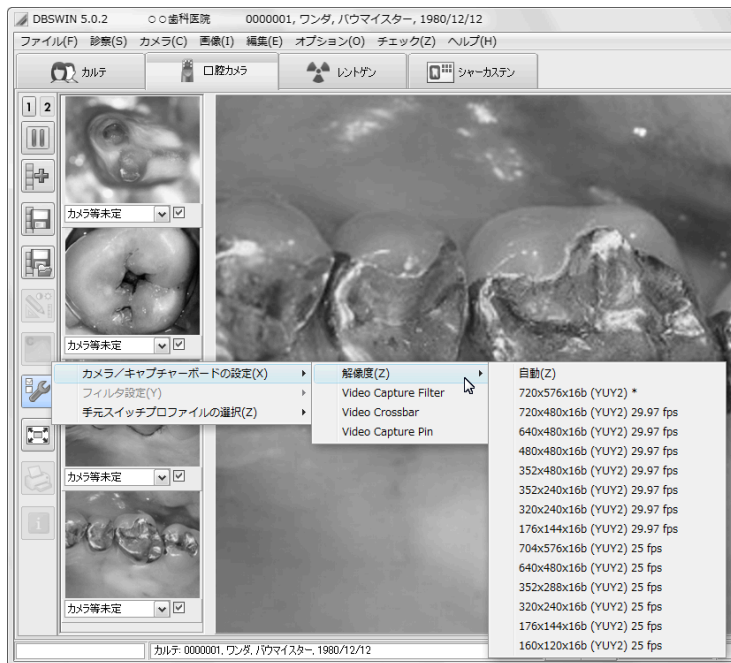
ダイアログ左半分:

「プロファイルの選択」→ 編集するプロファイルを選択します。

「撮影時の待機 ms」→ ここで行う設定は、画像のブレを防ぎます。

「押す強さの最小値」→ 押す強さは、この値以上でないと感知されません。

「押し方の強弱の閾値」→ 押す強さが、この値を超えると「強く押す」となり、超えない場合は「弱く押す」とみなされます。設定の際は、手元スイッチを握りながら、ページの右半分を見て行ってください。

「口腔カメラ」タブでのカメラ設定

【解像度の設定】

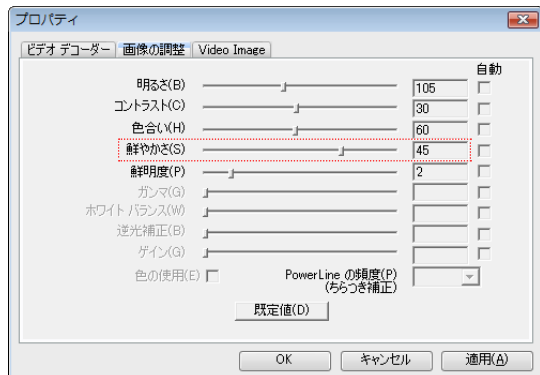
ここでは接続したカメラの可能な解像度が表示されます。可能な最大（正しい）解像度をここで選んでください。現在選択されている値には＊印がついています。

VistaCam iX⇒704 x 576

VistaCam Digitalと
VistaProof⇒720 x 576

注意：「Video Capture Pin」のダイアログでも解像度の設定が必要です。次ページ下参照。

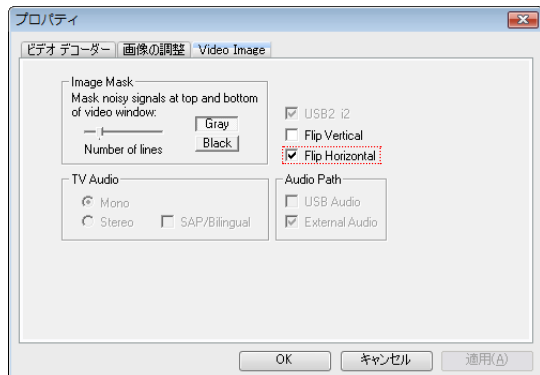
Video Capture Filter→
【ビデオ デコーダー】

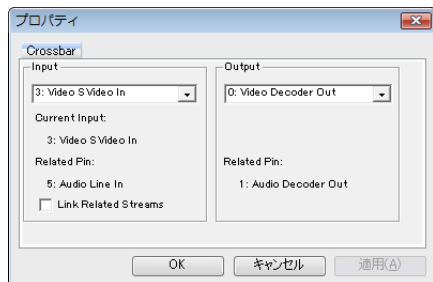
通常は、ここでの設定は必要ありません。

Video Capture Filter→
【画像の調整】

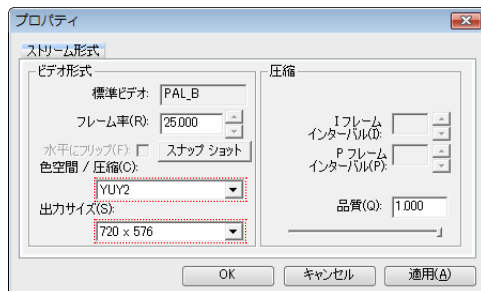
明るさ、コントラスト、鮮やかさ等の設定はここで行います。

VistaCam iXの場合は設定が不要です。

VistaCam Digitalの場合は、以下の設定をお勧めします:
明るさ: 105
コントラスト: 30
色合い: 60
鮮やかさ: 45

鮮明度: 2

Video Capture Filter→
【Video Image】
この画面はVistaCam DigitalとVistaProofのみにあります。
「Image Mask」で、画像の上部や下部にグレーや黒の縁取りをつけることができます。カメラ画像の枠部分に多少の乱れがあってもこれでカバーできます。

「Flip Horizontal」にチェックを入れると、画像が裏返しに反転するので、カメラを動かすと、モニター上でも同じ動きになり便利です。一度試されることをお勧めします。

Video Crossbar→
【Crossbar】

通常は、ここでの設定は必要ありません。

Video Capture Pin→
【ストリーム形式】

ここでは画質に関する重要な設定を行います。「色空間/圧縮」ではYUY2を選択してください。

「出力サイズ」ではカメラの解像度と同じ数値を選択することが重要です。

VistaCam iX⇒704 x 576

VistaCam DigitalとVistaProof⇒720 x 576